

公益財団法人 帆船日本丸記念財団が 第13回海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました！

公益財団法人帆船日本丸記念財団は、「海洋立国日本の推進に関する特別な功績」分野で、市民と共に育む海事思想の普及に貢献したことから、第13回海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。令和2年10月21日、国土交通省において小此木八郎海洋政策担当大臣より表彰状を授与されました

表彰制度の概要

本表彰は、海洋基本法に基づき、国土交通省、文部科学省、農林水産省、経済産業省及び環境省が内閣府総合海洋政策推進事務局の協力を得て実施しているもので、海洋に関する分野で顕著な功績を上げた個人・団体を内閣総理大臣が表彰し、その功績をたたえ広く世に知らしめることにより、国民に海洋に対する理解を深めていただく契機とすることを目的として、平成20年度より実施しています。

総帆展帆の帆船日本丸
2014年撮影



受賞のポイント

① 帆船日本丸（2017（平成29）年に国重要文化財に指定）を活用した海事思想の普及への貢献

★1985年の公開以来実施している総帆展帆(そうはんでんぱん)は今日までに374回となり、延べ40,112人の展帆ボランティアが参加しています。総帆展帆では、親から子へと世代交代しながら、35年間にわたりボランティアの協力が継続されています。

- ・総帆展帆は年12回程度実施し、毎回100名前後の展帆ボランティアの協力で帆を広げます
- ・2017(平成29)年の海の日の展帆に合わせ、行幸啓があり、ボランティアに励ましのお言葉を頂きました



展帆ボランティアによる解帆作業。
ヤード上でロープをほどく
2014年撮影



甲板上でロープを引く
展帆ボランティア
2014年撮影

★海への憧れを抱かせている海洋教室についてもこれまでに734回実施し、延べ38,271人が参加しています。



よこはまこどもマリンスクールでの
手旗訓練 2014年撮影

★船内の案内は、元船員であるガイドボランティアが実体験に基づいて行っています。

約50名のガイドボランティアが登録・活動しています
(現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止中)



ガイドボランティアによる
船内の解説

② 横浜みなと博物館を活用した海事思想の普及への貢献

★30年間の博物館活動で収集してきた海事関係資料約77,000点を中心とした常設展示のほか、年3回程度独自の企画による展覧会等を開催しています。横浜港という地域特性を重視したもの、海、船、港をテーマにしたものをバランスよく開催しています。

企画展「横浜船渠 ドック物語」
会場風景 2019年撮影



見学者でにぎわう横浜みなと博物館
2019年撮影

★ライブラリーは、現在約27,000冊の海事関係図書を所蔵、広く一般の利用に供しています。



横浜みなと博物館ライブラリー

★展示解説やワークショップを行うボランティアが活発に活動しており、来館者に横浜港、海、船を知るきっかけを提供し、大変好評を得ています。



展示案内ボランティアによる
展示解説



教育活動ボランティアによる
船の折り紙教室

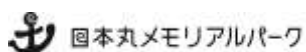
約65名のボランティアが登録・活動しています
(現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止中)

<公益財団法人 帆船日本丸記念財団会長 金近 忠彦(かねちか ただひこ) コメント>

このたび第13回海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰を受賞したことを大変光栄に思っています。

帆船日本丸を誘致し、未来を担う子供たちの海洋教育に活用するために財団の礎を築かれた先人達、35年間に亘り事業を支えていただいたボランティアの皆様、ご支援いただいた市民の皆様に変更して感謝申し上げます。

今回の受賞を励みに、帆船日本丸、横浜みなと博物館の海洋教育、普及啓発事業をさらに一層充実し、海洋立国日本の推進に貢献してまいります。



帆船日本丸
横浜みなと博物館

※画像データご希望の場合は担当者までご連絡ください。

お問い合わせ先

帆船日本丸・JTBCコミュニケーションデザイン共同事業体 総務課長 清水 / 営業企画課長 阿部

TEL:045-221-0280 FAX:045-221-0277 <https://www.nippon-maru.or.jp/>